



四中だより

令和7年7月1日
荒川区立第四中学校
学校だより 7月号

「読書」+「α」

校長 横林 泰介

彼はいつも本を読んでいて、担任をもった生徒のなかでも特に印象に残っている。生活指導に課題があった。しかし朝読書の時間は集中し読んでいた。朝学活・1時間目の授業に入っても読んでいた。注意し一時は止めるが、すぐに本を読み始めるのだ。私の数学の授業を聞くよりも人生を学んでいる感があった。成績は平均的であり卒業後は普通科の高校に入った。その後浪人をしたが国立大学の医学部に入ったと聞いた。とてもうれしかったのと同時に、「ブラックジャック」のような医者になりたいと話してくれたのを思い出した。また「読書する習慣がある生徒は必ず伸びる」という信念を私はもつようになった。彼との出会いに感謝している。

荒川区では、「家読(うちどく)」を推進している。これは「家族ふれあい読書」の意味で、読書を通じて、コミュニケーションを図り、家族の絆をつくる取組である。

【家読の効果】

- ・家庭内でのコミュニケーションが増え、家族の絆を深めることができます。
- ・親子で夢について話し合い、かつお互いに考えていることを知ることができます。
- ・本を読むきっかけづくりができ、今まで気づかなかった子どもの新たな発見があります。

本校では、7月7日～11日の読書週間で学習委員会が企画します。4月30日の専門委員会から準備をしました。これを機会に読書する生徒が増えれば大きな成果です。

企画名：「シュレーディンガーのPOPブックカバー ～本の中身はなんだろう？～」

方 法：①学習委員がおすすめ本を選定する。

②タイトルや中身がわからないようにブックカバーで隠す。

③カバーの上にネタバレにならない程度の本を紹介したPOPを本の帯のように巻いて展示する。

④POPをみて借りた人は本の中身がわかる。

私が子どもの頃は、テレビゲーム・SNSがない時代であり、娯楽と言えばテレビか漫画そして読書であった。比率で言うと7:2:1であり読書量は多くなかった。プロ野球読売巨人軍の試合のテレビ観戦が何よりも楽しみであった。王貞治選手が大好きであったため小学校の読書の時間で、「王貞治物語」を読んだ。デビューから26打席無安打で、三振が多く「三振王」と酷評された。しかし荒川博コーチの指導と自らの努力によって「一本足打法」を完成させ、世界のホームラン王になったことを知り感動した記憶がある。先日亡くなられた長嶋茂雄選手と共にON砲として巨人の看板選手となった。私も父に連れられ野球観戦に行ったことがある。ONが打席に立つと地鳴りのような声援に驚き、野球はこんなに人を熱くさせるスポーツであることを肌で感じた。

そして大学生になると、不思議に読書量が増えた。無作為に本を買って読んだ。分かったことはどの作家も夢中になるような書き方をしていることであった。私のお気に入りには亀井勝一郎の「愛の無情について」である。とにかく難しい本であった。「人生は邂逅し開眼し瞑目する」は共感できた。特に「邂逅」、わかりやすく言うと「出会い」である。出会いは、友・師・書物・テレビ・今ではネットも含まれるが、中学生には沢山の出会いをしてほしい。そしてその出会いを通じて自分の可能性を探ってほしいと願っています。それが出来るのが青春なのです。

【修学旅行 3年】

5月31日～6月2日まで京都・奈良方面に行ってきました。初日は奈良公園班行動、薬師寺を見学しました。二日目は京都市内の班行動、夕食後の絵付け体験。三日目はクラス別行動でした。特に二日目の班行動では、指定された時間以降にホテルに戻ることを守ることが出来ました。よく汗をかき、よく食べ、よく学び、よく笑うことができた修学旅行でした。



【清里移動教室 1年】

6月11日～13日まで行ってきました。3つのS(Safety 安全、Speedy 素早い行動、Smile 笑顔)をしっかりと実行しました。とくに Speedy に関しては完璧で生徒全体の生活に余裕が生まれました。また BBQ、陶芸、農林、溪流釣りなど日常出来ない体験をし、夜のレクリエーションはすべて生徒たちで企画・運営し、大きな成長を感じることができました。



【清里移動教室 D組】

6月18日～20日まで行ってきました。スパティオ小淵沢での工芸作り体験、ハヶ岳自然ふれあいセンターでのせせらぎ小径散策、やまねミュージアム見学、ソフトクリームを夕食、夜のキャンプファイヤー、富士見高原では天空カートで頂上まで登り素晴らしい景色に出会えたこと全てが良い思い出となりました。一中・三中・尾久八幡中の生徒との交流があり社会性を身に付けた大切な2泊3日となりました。



6月は宿泊行事が目白押しでした。2年生も9月3日～5日の期間で下田移動教室が始まります。1学期中の準備が必要ですね。「指折り待ってた夏休み～♪」もう目前です。